年間授業計画

高等学校 令和5年度　　教科　　科目

教　科：　家庭　　科　目：　家庭総合　　単位数：　4　単位

教科担当者：

使用教科書：（ 家庭総合　自立・共生・創造　東京書籍　　）

教科　家庭科　　の目標：

【知識及び技能】生活の主体者として、社会とのかかわりを視野に入れながら家庭科の各分野における知識と技能を習得できる。

【思考力、判断力、表現力等】家庭科の各分野で学んだ事について自ら情報を集め、社会とのかかわりを視野に入れながら考え、判断し、表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】自ら家庭科の目標に向かって興味を持ち、生活の主体者として社会とのかかわりを視野に入れながら学習に取り組み、学習をやり抜くことができる。

科目　家庭総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立した個人として、社会と生活のかかわりを視野に入れながら「家庭総合」の各分野における知識と技能を習得できる。	自ら工夫しながら「家庭総合」の各分野で学んだ事について情報を集め、社会とのかかわりを視野に入れながら考え、判断し、表現できる。	自ら「家庭総合」の目標に向かって興味を持ち、生活の主体者として持続可能な社会の実現を目指して学習に取り組み、学習をやり抜くことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A 単元 【知識及び技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに，青年期の課題である自立や男女の平等と協力，意思決定の重要性について理解を深めること。 家族・家庭の機能と家族関係，家族・家庭と法律，家庭生活と福祉などについて理解するとともに，社会との関わり社会環境の変化や課題について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することや，男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために考え、実践する態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに，青年期の課題である自立や男女の平等と協力，意思決定の重要性について理解を深めている。 家族・家庭の機能と家族関係，家族・家庭と法律，家庭生活と福祉などについて理解するとともに，社会との関わり社会環境の変化や課題について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することや，男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために考え、実践しようとしている。	主として考査による評価	主としてレポートによる評価	○	2
	B 単元 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子供を取り巻く社会環境，子育て支援について理解するとともに，乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を生み育てることの意義について考えるとともに，子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもが健やかに育つ社会の実現を考え、実践する態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子供を取り巻く社会環境，子育て支援について理解するとともに，乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 子供を生み育てることの意義について考えるとともに，子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもが健やかに育つ社会の実現を考え、実践しようとしている。	主として考査による評価	主としてレポートによる評価	○	2
	C 単元 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに，生活支援に関する基礎的な技能を身に付けること。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに，生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるため，家族や地域		主と		

	【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるため，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、高齢者との関わりを方を考えて実践する態度を養う。		及び社会の果たす役割の重要性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、高齢者との関わりを方を考えて実践しようとしている。	主として考査による評価	主としてレポートによる評価	○	2
	D 単元 【知識及び技能】 　家計の構造や生活における経済と社会との関わり，家計管理について理解すること。 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解すること。 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに，持続可能な社会へ参画することの意義について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 　生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について，ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察すること。 自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し，工夫すること。 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について考察し，ライフスタイルを工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 消費者市民社会の実現を考え、実践する態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	D 単元 【知識・技能】 　家計の構造や生活における経済と社会との関わり，家計管理について理解している。 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解している。 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに，持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 　生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について，ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察している。 自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し，工夫している。 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について考察し，ライフスタイルを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者市民社会の実現を考え、実践しようとしている。	主として考査による評価	主としてレポートによる評価	○	2
	定期考査			○	○		1

後期	E 単元 【知識及び技能】 　ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解し，自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 　おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について理解し，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について考察し，自己や家族の食事を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 安全・環境・健康など食生活に係る情報を収集、判断し、持続可能な食生活の実現を目指す態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解し，自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 　おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について理解し，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について考察し，自己や家族の食事を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全・環境・健康など食生活に係る情報を収集、判断し、持続可能な食生活の実現を目指そうとしている。	主とて考査による評価	主としてレポートによる評価	○	2
	F 単元 【知識及び技能】 　ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができること。 被服材料，被服構成及び被服衛生について理解し，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 　被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた 着装を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 次世代に引き継ぐ衣生活の在り方を考え、消費の視点で衣生活を見直す態度を養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 　ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができている。 被服材料，被服構成及び被服衛生について理解し，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 　被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 次世代に引き継ぐ衣生活の在り方を考え、消費の視点で衣生活を見直そうとしている。	主とて考査による評価	主としてレポートによる評価	○	4
	G 単元 【知識及び技能】 　ライフステージに応じた住生活の特徴，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し，適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 　住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて考察し，防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 快適かつ健康、安全な住まい方を考えようとする態度養う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	G 単元 【知識・技能】 　ライフステージに応じた住生活の特徴，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し，適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 　住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて考察し，防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 快適かつ健康、安全な住まい方を考えようとしている。	主とて考査による評価	主としてレポートによる評価	○	2
	定期考査			○	○		1
							合計 18